

本に打ち寄せる国際化の波は、法曹界も例外ではなく、共通言語は英語です。

英米圏だけでなく、たとえアジア圏の法律家が相手であっても、英語で意思疎通できることが必要です。

逆に、最低限コミュニケーションが取れる程度の発音ができなければ、その場に冷たい空気――あなたは本当に弁護士ですかという――が流れてしまいます。

エースの発音指導では、英米人の講師から「今の部分は発音がクリアでないから何を言っているのかわからなかった。」とはっきり指摘されます。

その上で、通じる発音ができるようになるまで、講師が根気よく訓練してくれます。

こうした訓練を通じて、私も聞き返されない程度に、英語で意思疎通をすることができるようになりました。

アジア圏の人々との意思疎通には困りませんし、逆に彼らの発音に癖があることを聞き取ることができるようになりました。

また、英米圏の法律家やクライアントが相手であっても、「発音はできているので、後はたくさんイディオムを覚えるだけだね。」とってもらえます。

エースの発音指導は、決してやさしくはありません。

しかし、英語をどうすれば正しく発音できるのか、他の音とのつながりでどのように変化するかといったことを繰り返し教えてもらえますので、訓練を重ねるうちに、受講者の発音が上達していくのだと思います。

英語の発音で悩まれている方は、エースの門を叩いてみてください。